DECISION

Request No.: 12

Request for Redress

Event: PERSSON 470 class Japan Championships 2021 **Race Number: 1**
Hearing Schedule: 2021-11-19 19:45

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 12: 470 - 1 - JPN 3891 - Bow# 30 - 宇田川 涼太郎

Race Committee

Witnesses: 吉本昌弘、山口滋子（ジャッジ）

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Beyond with Good Reason

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

- 出席したレース委員会の代表者：京黒 太郎
- 救済要求は、RRS 62.2で求められている時間内にレース・オフィスに提出されなかったが、正当な理由があったためPCは締切時間を延長した。
- RRS63.6(b)に従い ジャッジ２名が審問中にインシデントを目撃した事実を述べ、うち１名は証言もした。
- パネルチェアは、判決を通告する際、判決文のコピーは大会Webサイトからダウンロードできると当事者に伝えた。

FACTS FOUND

- SI15に、フィニッシュ・ラインはスターボードの端の青色旗を掲げたポールとポートの端のブイの間、と定められていた。
- SI17.7に、予選シリーズのフィニッシュウィンドウは10分、と定められていた。
- 第1レース（予選シリーズ）において、Blueフリートのトップ艇がフィニッシュ・マークに到達したとき、3Pマーク、フィニッシュ・マークであるブイと青色旗を掲揚しているポールは、ほぼ一直線に並んでいた。
- トップ艇は、フィニッシュ・マークであるブイをポート側に見てフィニッシュ・ラインを コース・サイドから 横切った。
- トップ艇は、その後、タックをしてコース・サイドに戻り、同一の方向にジャイブ、タックをして、フィニッシュ・マークであるブイをスターボード側に見て、フィニッシュ・ラインをコース・サイドから横切った。
- この間、1分強の時間があった。
- トップ艇が2度目にフィニッシュ・ラインを横切ったとき、レース委員会は音響信号を発した。
- 3891はトップ艇がフィニッシュ・ラインを1度目に横切ってから10分経過後、音響信号が発せられてから10分以内に、フィニッシュ・ラインをコース・サイドから横切った。
- トップ艇は、3Pマーク回航後から2度目にフィニッシュ・ラインを横切るまでの間、他艇と干渉することはなかった。また、フィニッシュ・マークに接触せず、付則Ｐに基づくペナルティーを課されることもなかった。
- レース委員会は、3891をDNFと記録した。

Diagram: No Diagram Needed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 62.1

- トップ艇は、1度目にフィニッシュ・ライン横切るまで、コースの帆走に関する誤りをおかしていなかった。また、規則44.2に基づくペナルティーを履行していなかったので、1度目にフィニッシュ・ラインを横切った時、トップ艇はフィニッシュした。

- 艇がフィニッシュするときにレース委員会が音響信号を発することは、いずれの競技規則も求めていない。
- レース委員会に不適切な処置または不手際はなかった。

DECISION

Date & Time: 2021-11-19 20:50 JST

救済を与えない。

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Kai Masuda (JPN)

Committee Members: Masahiro Yoshimoto (JPN), Shigeko Yamaguchi (JPN), Yasumasa Yamaguchi (JPN), Takahiro Nakamura (JPN)

Printed: 2021-11-20 06:34